薬局製剤について

イソノ薬局実習生
近畿大学　久保晴香

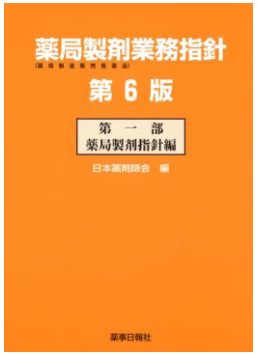
目次

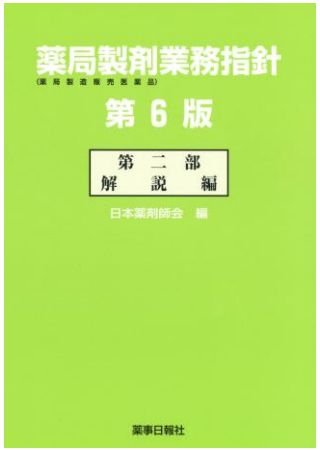
- 薬局製剤とは
- 薬局製剤の特徴
- ナファゾリン・クロルフェニラミン液A
- 感冒剤13号A
- イソノ薬局の薬局製剤
- 薬局製剤の課題
- まとめ・感想

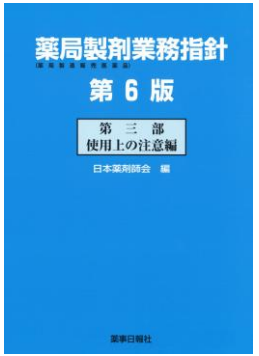
薬局製剤とは

～概要～

- 厚生労働省の「薬局製剤指針」に基づいて調製
- 約４２０種類の薬局製剤が存在







～主な製剤～

- 点眼薬（例：目薬）
- 軟膏剤（例：皮膚用塗り薬）
- 散剤（例：粉薬）
- 液剤（例：内服液）
- 含嗽剤（例：うがい薬）

～ 薬局製剤を取り扱うための条件～

- 都道府県知事の製造販売業と製造業の許可が必要（有効期限６年）

薬局製剤の特徴

医師の処方箋が
なくても購入できる

薬剤師が手作りした
薬局オリジナル

患者様のニーズに
応じた対応ができる

ナファゾリン・クロルフェニラミン液A

処方

ナファゾリン塩酸塩	0.05g
クロルフェニラミンマレイン酸	0.1g
クロロブタノール	0.2g
グリセリン	5.0mL
精製水	適量
全量	100ml

①計量（固体）

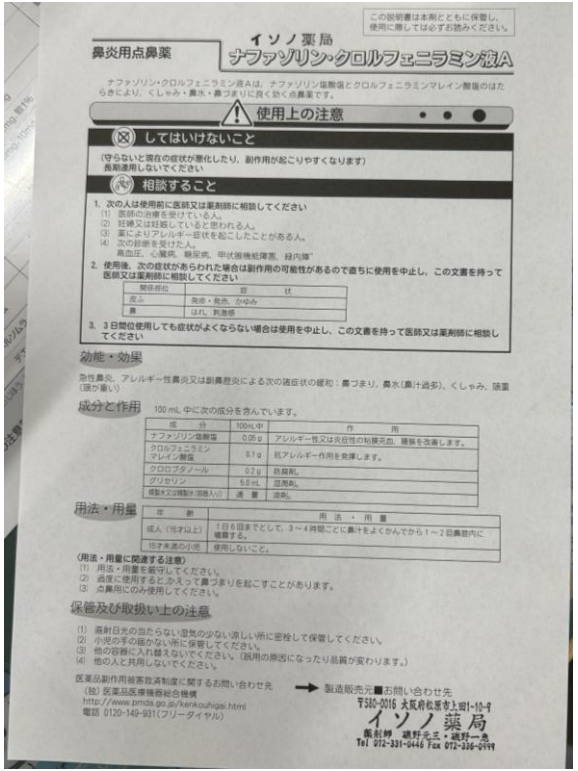
②計量（液体）

③混合

④秤量

ナファゾリン・クロルフェニラミン液A

使用上の注意



この説明書は本剤とともに保管し、使用に際しては必ずお読みください。

鼻炎用点鼻薬

イソノ薬局
ナファゾリン・クロルフェニラミン液A

ナファゾリン・クロルフェニラミン液Aは、ナファゾリン塩酸塩とクロルフェニラミンマレイン酸塩のはたらきにより、くしゃみ・鼻水・鼻づまりに良く効く点鼻薬です。

使用上の注意

してはいけないこと

(守らないと現在の症状が悪化したり、副作用が起こりやすくなります)
長期連用しないでください

相談すること

1. 次の人は使用前に医師又は薬剤師に相談してください
(1) 医師の治療を受けている人。
(2) 妊婦又は妊娠していると思われる人。
(3) 薬によりアレルギー症状を起こしたことがある人。
(4) 次の診断を受けた人。
高血圧、心臓病、糖尿病、甲状腺機能障害、緑内障
2. 使用後、次の症状があらわれた場合は副作用の可能性があるので直ちに使用を中止し、この文書を持って医師又は薬剤師に相談してください

関係部位	症状
皮ふ	発疹・発赤、かゆみ
鼻	はれ、刺激感

3. 3日間位使用しても症状がよくならない場合は使用を中止し、この文書を持って医師又は薬剤師に相談してください

効能・効果

急性鼻炎、アレルギー性鼻炎又は副鼻腔炎による次の諸症状の緩和：鼻づまり、鼻水(鼻汁過多)、くしゃみ、頭重(頭が重い)

成分と作用

100mL中に次の成分を含んでいます。

成分	100mL中	作用
ナファゾリン塩酸塩	0.05g	アレルギー性又は炎症性の粘膜充血、腫脹を改善します。
クロルフェニラミンマレイン酸塩	0.1g	抗アレルギー作用を発揮します。
クロロブタノール	0.3g	防腐剤。
グリセリン	5.0mL	湿潤剤。
精製水又は精製水(別処入り)	適量	溶剤。

用法・用量

年齢	用法・用量
成人(15才以上)	1回6回までとして、3～4時間ごとに鼻汁をよくかんでから1～2回鼻腔内に噴霧する。
15才未満の小児	使用しないこと。

(用法・用量に関連する注意)
(1) 用法・用量を厳守してください。
(2) 過度に使用すると、かえって鼻づまりを起こすことがあります。
(3) 点鼻用にのみ使用してください。

保管及び取扱い上の注意

(1) 直射日光の当たらない湿気の少ない涼しい所に密栓して保管してください。
(2) 小児の手の届かない所に保管してください。
(3) 他の容器に入れ替えないでください。(誤用の原因になったり品質が変わります。)
(4) 他の人と共用しないでください。

医薬品副作用被害救済制度に関するお問い合わせ先
(独)医薬品医療機器総合機構
http://www.pmda.go.jp/kenkouhigai.html
電話 0120-149-931(フリーダイヤル)

製造販売元■お問い合わせ先
〒580-0016 大阪府松原市上田1-10-9
イソノ薬局
薬剤師 磯野元三・磯野一生
Tel 072-331-0446 Fax 072-336-0999

感冒剤13号 A

処方

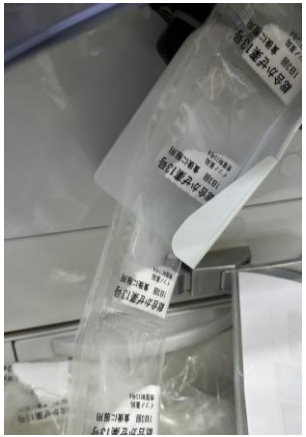
アセトアミノフェン	0.36g
エテンザミド	0.9g
クロルフェニラミンマレイン酸塩	0.0075g
dl-メチルエフェドリン塩酸塩散 10%	0.6g
カフェイン水和物	0.075g
ジヒドロコデインリン酸塩散 1%	2.4g
デンプンまたは乳糖水和物	適量
全量	6.0g

①ふるいにかける

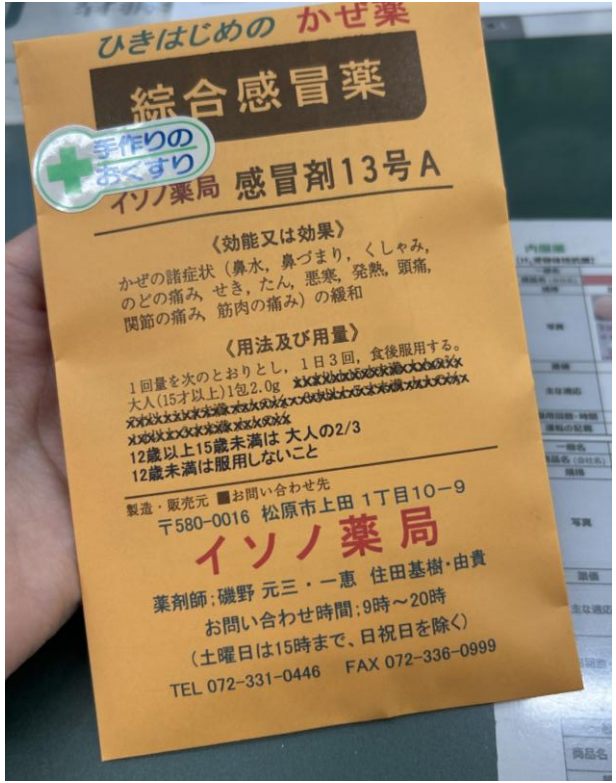
②混合

③ふるい＋混合

④分包



感冒剤13号 A


ひきはじめの かぜ薬
綜合感冒薬
手作りのおくすり
イソノ薬局 感冒剤13号A
《効能又は効果》
かぜの諸症状（鼻水，鼻づまり，くしゃみ，
のどの痛み せき，たん，悪寒，発熱，頭痛，
関節の痛み 筋肉の痛み）の緩和
《用法及び用量》
1回量を次のとおりとし，1日3回，食後服用する。
大人(15才以上)1包2.0g
12歳以上15歳未満は 大人の2/3
12歳未満は服用しないこと
製造・販売元 ■お問い合わせ先
〒580-0016 松原市上田 1丁目10－9
イソノ薬局
薬剤師：磯野 元三・一恵 住田基樹・由貴
お問い合わせ時間：9時～20時
（土曜日は15時まで、日祝日を除く）
TEL 072-331-0446 FAX 072-336-0999

必ず目に
付く場所

イソノ薬局の薬局製剤

かぜ薬、アレルギーの薬、手荒れのクリームなど

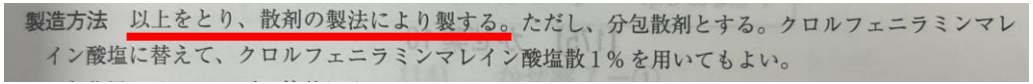
【ベストセラー商品】　解熱鎮痛薬　７号

薬局製剤の課題

自分で造った薬で患者様に喜んでもらえるやりがい

～課題～

薬局製剤を扱っている薬局はまだ少ない


製造方法　以上をとり、散剤の製法により製する。ただし、分包散剤とする。クロルフェニラミンマレイン酸塩に替えて、クロルフェニラミンマレイン酸塩散１％を用いてもよい。

- 手間がかかる
- 薬局製剤指針の製造方法の説明が簡潔すぎる

薬局製剤を作るにあたっての具体的な**製造手順**の作成や**講習会**の開催

まとめ・感想

・自分で薬局製剤を製造
⇒薬局製剤への理解が深まった
・自分で製造した商品で患者様の喜ぶ姿
⇒調剤業務とは異なるやりがい

一般的な調剤業務にはない魅力が薬局製剤にはある

ご清聴ありがとうございました